

もくじ

- ・ てぶくろ か
手袋を買いに

てぶくろ か 手袋を買いに

げんさく 原作： にいみ なんきち 新美 南吉

イラスト： かつなが みつとし

へんしゅう 編集： YellowBirdProject

3

寒い冬が北の方から、きつねの親子の住んでいる森へもやってきました。ある朝、ほら穴から子どものきつねが出ようとしたのですが。

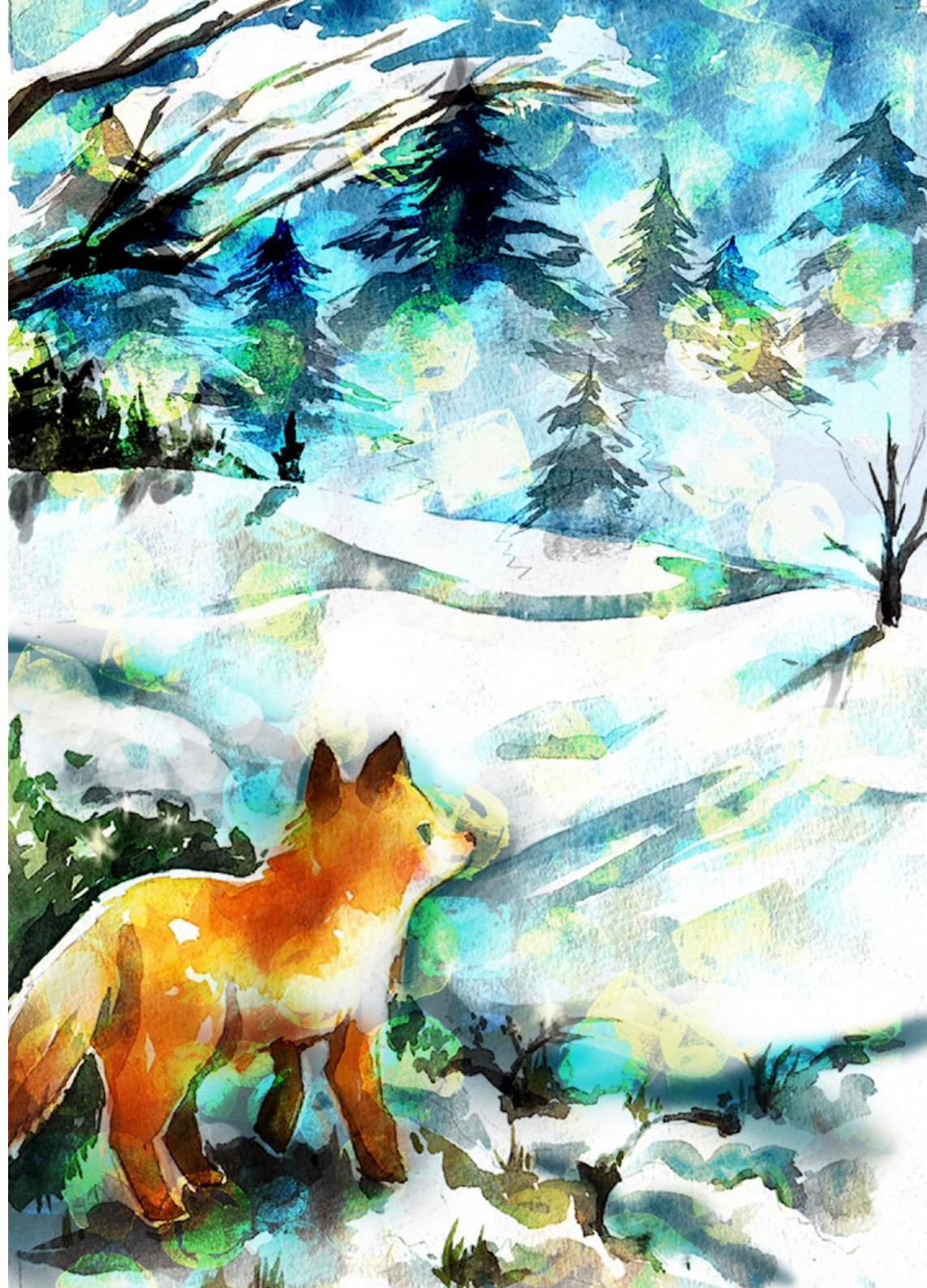
「あ！」

と言って、目をおさえながら、母さんぎつねのところに転がってきました。

「お母ちゃん、目になにかささった、抜いてちょうだい、早く早く！」

母さんぎつねはびっくりして、あわてて子ぎつねの手を取りのけてみましたが、なにもささっていませんでした。きのうのうちに降り積もった雪が、お日さまの光を反射して、雪を知らない子ぎつねは、目になにかささったと思ったのでした。

子ぎつねは、遊びに出かけました。



5

真綿まわたのようなやわらかい雪ゆきの上うえをかけ回まわると、雪ゆきの粉こながしぶきのように舞まって、小ちいさいにじがすうっと映うつりました。

突然とつぜん、後うしろから、どたどた！ざーおおと大おおきな音おとがして、パン粉このような雪ゆきが、わーこと子こぎつねにかぶさこってきました。子こぎつねはびこっくりして、雪ゆきの中なかをころるにように逃にげました。

それはもみの木きの枝えだから、雪ゆきがなだれ落おちたのでした。まだ枝えだと枝えだの間あいだから、白しろいきぬ糸いとのように、雪ゆきがこぼこれていました。

